

令和七年十一月四日 知事表彰（高知県表彰規則）

高知県功労者表彰事績概要

高
知
県

被表彰者一覽

(各部門年齡順)

農林業關係	川井高廣	1
同	相良康磨	2
建設業關係	大場智公	3
社会福祉關係	杉本守	4
同	中川弘枝	5
同	畠山和香	6
保健衛生關係	疋田隆雄	7
同	倉本秋	8
環境保全關係	和田優	9
災害防除關係	森國一広	10



(農林業関係)

土佐郡土佐町相川

川^{かわ} 井^い 高^{たか} 廣^{ひろ}

七十三歳

関 歴

(現) 畜産業

土佐町肉用牛生産組合組合長

(五十二年七月)

(二十六年三月)

(現) 嶺北和牛改良組合組合長

土佐れいほく農業協同組合理事

(二十三年九月)

高知県農業協同組合理事

(五年六月)

土佐町農業委員会委員・会長職務代理者

(二十四年)

(現) 株^か川採種組合組合長

(九年四月)

(四年三月)

事 績

多年畜産業に精励するとともに、農業関係団体の要職を歴任し、畜産業の振興と地域農業の発展に寄与した功績は大きい。

特に、嶺北和牛改良組合組合長として、土佐あかうしの育種改良と系統再構築に尽力したほか、和牛のオリンピックピックとも呼ばれる「全国和牛能力共進会」において、長年にわたり優秀な成績を収めるなど、土佐あかうしのブランド化及び本県畜産業の発展に寄与した功績は顕著である。

また、土佐町肉用牛生産組合組合長として、大規模生産基地の立ち上げに尽力したほか、新規就農者の育成指導や規模拡大に向けた技術支援を積極的に行い、土佐あかうしの増頭及び県内肉用牛の生産基盤の強化に貢献した。

さらに、土佐れいほく農業協同組合理事及び高知県農業協同組合理事として、畜産部門の経営改善に貢献するとともに、土佐町農業委員会委員として、地域農業の発展に貢献した功績も大きい。



(農林業関係)

高知市宝町

相良康磨

六十九歳

履歴

高知県森林組合連合会事業部長・副参事・

参事・代表理事専務 (四十四年十一月)

事績

多年林業関係団体の要職を歴任し、組織の基盤強化に尽力するとともに、本県の森林・林業の振興に寄与した功績は大きい。

特に、高知県森林組合連合会代表理事専務として、令和3年のウッドショックによる原木価格の上昇に伴い生産量が急増した際に、協定量以上の原木の買い取りを行うことで、出荷者からの信頼度を高めるとともに、県内の原木生産拡大に寄与した功績は顕著である。

また、同連合会事業部長として、原木の販売力強化と供給量の確保に向けて、木材共販所の販売方法を市売りから契約販売に転換し、安定的な集荷・販売体制を構築したことにより、同連合会の経営革新と体制強化に貢献した。

さらに、同連合会副参事として、県内の豊富な森林資源を余すことなく活用するべく、木質バイオマス発電事業を推進し、原木の需要拡大と林業関係者への利益還元に貢献した功績も大きい。



(建設業関係)

高知市九反田

おおお
大場
とも
智
のり
公

七十八歳

関 歴

(現) 福留開発株式会社取締役・専務取締役・

代表取締役社長・取締役会長 (四十八年六月)

(現) 一般社団法人高知県建設業協会理事

(十四年五月)

(現) 一般社団法人高知県建設業協会

上下水道部会理事・副部会長・部会長 (十三年)

(現) 高知県建設業協会高知支部理事

(九年六月)

(現) 高知地区建設業協会理事

(現) 高知県建設産業団体連合会

監事・理事・常任理事 (十二年四月)

事 績

多年建設業に精励するとともに、建設業関係団体の要職を歴任し、建設業界の振興発展に寄与した功績は大きい。

特に、福留開発株式会社の取締役会長等として、先駆的・効果的にデジタル技術を活用し、複雑な地形や環境への配慮が必要な河川の護岸工事において、3Dプリンタを使った擬石型曲線護岸パネルを日本で初めて導入し、難易度の高い工事の品質確保と工期短縮、河川生物の生息環境への配慮を実現するなど、建設業の技術発展に寄与した功績は顕著である。

また、高知県建設業協会高知支部理事として、中学校への出前授業を実施して担い手の確保に取り組むとともに、同協会上下水道部会部会長等として、働き方改革に向け、現場の声を聴いて自治体と協議し、汚水取付管記録簿の簡素化・省力化を実現するなど、業界の健全な発展に大きく貢献した。

さらに、地域の清掃活動や緑化作業といったボランティア活動にも取り組むなど、地域活動に尽力した功績も大きい。

高知市土佐山菖蒲



(社会福祉関係)

すぎ
杉

もと
本

まもる
守

七十七歳

関 歴

(現) 高知市土佐山地区民生委員・児童委員

(二十九年十一月)

(現) 高知市土佐山地区民生委員児童委員協議会

会長

(二十年七月)

(現) 土佐山地区社会福祉協議会会長

(十二年五月)

事 績

多年民生委員・児童委員を務めるとともに、関係団体の要職に就き、組織運営や活動の充実に努めるなど、社会福祉の推進及び地域福祉の向上に寄与した功績は大きい。

特に、高知市土佐山地区民生委員・児童委員として、認知症の疑いがある住民や見守りが必要なケースなど様々な情報が寄せられるよう、新聞販売所を経営する傍ら、高知県における地域の見守り活動に関する協定に基づき毎日地域に出向くとともに、毎月担当世帯を訪問することによって、地域住民と信頼関係を構築し、地域福祉の充実に尽力した功績は顕著である。

また、高知市土佐山地区民生委員児童委員協議会会長として、定例会に行政や福祉の関係者を招き、気になる世帯の情報共有や必要な助言を受ける仕組みを整え、委員が安心して活動できる環境づくりに尽力するなど、委員の育成や活動継続に貢献した。

さらに、土佐山地区社会福祉協議会会長として、参加する様々なイベントに積極的に協力し、帰省のきっかけづくりや地区を知ってもらう機会を創出し、地域の活性化に寄与した功績も大きい。

香南市赤岡町



(社会福祉関係)

中^{なか}
川^{がわ}
弘^{ひろ}
枝^え

七十六歳

関 歴

(現) 香南市赤岡町主任児童委員

(三十一年十月)

(現) 香南市赤岡町民生児童委員協議会

副会長・会長 (十二年十一月)

(現) 香南市民生委員児童委員協議会連合会理事 (十一年十一月)

事 績

多年主任児童委員を務めるとともに、関係団体の要職に就き、組織運営や活動の充実に努めるなど、社会福祉の推進及び地域福祉の向上に寄与した功績は大きい。

特に、香南市赤岡町主任児童委員として、地域の人がボランティアとして学習支援や食育、読み聞かせ、登下校時の交通安全活動などを行う赤岡小学校の「黒潮の子ども応援隊」の立ち上げに携わるとともに、学校訪問により、児童や教職員との顔が見える関係づくりにも力を注ぎ、小学校運営や子ども・子育て支援に大きく貢献した。

また、学校の外でも声を掛け合う地域づくりを進め、気になる子どもを関係機関に繋げることで、問題の深刻化を防ぐ体制づくりに貢献した。さらに、香南市赤岡町民生児童委員協議会会長として、豊富な経験を活かして新任委員の悩みや相談に助言し、委員それぞれの強みを引き出すよう努めるとともに、研修内容の共有等を通じて課題を一人で抱え込まない体制づくりに尽力するなど、継続的な活動の推進に大きく貢献した。



(社会福祉関係)

高知市一宮

はたけ
山やま
和わ
香か

六十二歳

関 歴

(現) 児童養護施設高知聖園天使園

ケアワーカー・家庭支援専門相談員・

施設長

(三十七年七月)

児童家庭支援センター高知みその相談員

(二年)

高知市立鴨田保育園保育士

(二年)

事 績

多年児童養護施設等の職員として、業務に精励するとともに、児童福祉の向上に寄与した功績は大きい。

特に、児童養護施設のケアワーカーとして、子どもたちの養育に尽力し、子どもたちが安心して生活できるよう、保護者に代わって日々の生活を支えるとともに、同施設の家庭支援専門相談員として、多岐にわたる家庭問題に対応し、親子支援を通じて親と子をつなぐ役割を担ってきた功績は顕著である。

また、地域の相談支援機関である児童家庭支援センターの相談員として、様々な課題を抱えながら子育てをしている家庭や、困難を抱える女性等に寄り添い、関係者等と連携しながら、課題解決に向けた支援に尽力した。

さらに、児童養護施設の施設長として、施設の運営だけでなく、子ども達が自身の過去や施設への入所理由、現在の状況を整理し、将来について考える「ライフストーリーワーク」に県内でいち早く取り組むなど、子どもの自立支援に寄与した功績も大きい。

香南市野市町西野



(保健衛生関係)

正^{ひき}
田^た
隆^{たか}
雄^お

七十六歳

関 歴

- | | |
|---|---|
| (現) 一般社団法人香美郡医師会
監事・理事・副会長・会長 (二十九年七月) | (現) 日本一の健康長寿県構想南国・香南・香美
地域推進協議会委員 (九年七月) |
| 正田内科院長 (三十四年二月) | 高知県中央東地区健康づくり推進協議会
委員 (五年) |
| (現) 一般社団法人高知県医師会理事 (七年五月) | (現) 香南市介護認定審査会委員 (二十六年一月) |
| 香南市立野市小学校学校医 (三十七年) | (現) 香南市国民健康保険事業運営協議会委員 (九年七月) |
| (現) 香南市立吉川小学校学校医 (二十五年七月) | |

事 績

多年医師として、地域住民の診療に精励するとともに、関係団体の要職を歴任し、地域医療と保健衛生の向上に寄与した功績は大きい。
特に、香美郡医師会代表として、日本一の健康長寿県構想南国・香南・香美地域推進協議会や中央東地区健康づくり推進協議会に参加し、地域医療の充実に尽力するとともに、一般社団法人高知県医師会理事として、「赤ちゃん会」において保護者を対象とした受動喫煙相談に取り組むなど、禁煙対策の推進に大きく寄与した功績は顕著である。

また、正田内科院長として、その優れた医術と熱意をもって地域住民の健康管理等保健衛生活動の向上に取り組み、地域住民の健康増進、病気の予防に大きく貢献した。

さらに、地域の小学校の学校医として、児童の健康保持に貢献したほか、近年深刻化する医師不足の影響で学校医の退任が相次ぐ中、後任医師の確保に向けて、地域行政と連携を図りながら主体的に調整を行い、地域の教育現場における健康管理体制の維持に貢献した功績も大きい。



(保健衛生関係)

高知市本町一丁目

倉本 秋

七十四歳

履歴

- | | | |
|-----------------------|---------|-------------------------|
| (現) 一般社団法人高知医療再生機構理事長 | (十五年七月) | 東京大学医学部 |
| 高知大学医学部附属病院病院長 | (六年六月) | 第3外科講師・消化管外科学助教授(七年十一月) |
| 高知医科大学総合診療部教授 | (五年七月) | |
| 高知大学理事 | (六年) | |
| 公益社団法人日本医師会 | | |
| 生涯教育推進委員会委員長 | (四年) | |

事績

多年医師として、地域住民の診療に精励するとともに、関係団体の要職を歴任し、地域医療と保健衛生の向上に寄与した功績は大きい。特に、一般社団法人高知医療再生機構理事長として、高知県が抱える医師偏在解消のために、医学生や研修医への高知県内での研修支援や指導医の育成及び確保支援事業に取り組み、高知県内の臨床研修開始医師及び30歳未満の医療施設従事医師の確保・キャリア形成支援に寄与した功績は顕著である。

また、高知大学医学部附属病院病院長として、病院経営における経済的自立と医療の質の向上に努めたほか、がんの早期発見等に有効な最新の診断機器を備えたPETセンターの開設により、先進医療の提供体制の確立に貢献した。さらに、同病院長として、態度・習慣領域評価に重点を置いた総合型の入学試験を開発・導入する入試改革を推進するとともに、研修医の卒前卒後教育改革を行い、若手医師の育成及び定着、研修医の受け皿となる高知県内の医療機関の連携強化や指導医の技術向上に尽力した功績も大きい。



(環境保全関係)

高知市塩田町

和田 優
わだ まさる

七十三歳

関 歴

(現) 一般社団法人高知県産業廃棄物協会

理事・副会長・会長 (二十七年二月)

公益財団法人エコサイクル高知理事

(二年四月)

公益社団法人全国産業廃棄物連合会

四国地域協議会会長 (一年)

公益社団法人全国産業廃棄物連合会副会長 (一年)

事 績

多年産業廃棄物処理業に精励し、関係団体の要職を歴任し、県内の産業廃棄物の適正処理の推進に寄与した功績は大きい。

特に、一般社団法人高知県産業廃棄物協会会長として、組織の運営や強化に尽力し、「四国八十八箇所遍路道清掃活動」や「県民一斉美化活動」、会員研修会の開催などを通じて広域連携を推進するとともに、産業廃棄物業界の認知度向上や会員の資質向上を図り、産業廃棄物の適正処理の体制づくりに大きく寄与した功績は顕著である。

また、同協会副会長として、高知県と「災害時における災害廃棄物処理等の協力に関する協定」、四国4県協会と「災害発生時等の相互応援に関する協定」を締結するなど、災害発生時における災害廃棄物処理に係る連携、協力体制の整備に寄与した。

さらに、公益財団法人エコサイクル高知理事として、県内における安心・安全な産業廃棄物処理体制の確立や適正処理の推進に寄与した功績も大きい。

南 国 市 浜 改 田



(災害防除関係)

森^{もり}
國^{くに}
一^{かず}
広^{ひろ}

六十四歳

関 歴

南 国 市 消 防 団 琴 平 分 団 浜 改 田 班 団 員	(十二 年 十 一 月)
南 国 市 消 防 団 琴 平 分 団 浜 改 田 班 班 長	(一 年 十 月)
南 国 市 消 防 団 琴 平 分 団 副 分 団 長	(十 五 年 十 一 月)
南 国 市 消 防 団 琴 平 分 団 分 団 長	(四 年 六 月)
(現) 南 国 市 消 防 団 副 団 長	(二 年 一 月)

事 績

多年消防団副団長等として、消防活動に精励するとともに、消防団の充実強化に尽力し、災害防除に寄与した功績は大きい。
特に、多年にわたる豊富な経験と適切な判断力により、平成27年2月に発生した火災時には、被災家族の安全の確保や適切な指示を行い、類焼等
を防いだほか、平成30年7月の西日本豪雨では、自ら率先して地域住民へ早期避難を呼びかけ、迅速な土嚢の設置により水害の軽減を図るなど、人
命の救護や災害の抑止に貢献した功績は顕著である。

また、団員に教養と訓練の重要性を訴え、救命講習や機関員講習会の定期的な再講習の受講促進に積極的に取り組むなど、団員の消防技術の向上
に尽力した。

さらに、将来の団員数減少を見据え、消防団への加入者要件の柔軟化を提案し、規則の改正を実現したことにより、消防団員の確保及び充足率の
維持に貢献した功績も大きい。